

# 第29回 横浜環境活動賞 事例集



横浜市環境創造局



# 横浜環境活動賞とは

## 1 概要

横浜環境活動賞は、様々な環境活動を積極的に行っている市民（個人・団体）、企業、児童・生徒・学生の皆様を表彰する制度です。環境の保全・再生・創造に対する関心をより一層高めていただくとともに、環境活動を推進し、環境にやさしいまちづくりを進めることを目的に平成5年度に創設されました。

## 2 表彰内容

### (1) 部門

「市民の部」「企業の部」「児童・生徒・学生の部」

### (2) 表彰の種類

大賞	各部門において最も評価の高い者を選考
実践賞	一定の審査基準を満たしている者を選考
生物多様性特別賞	全応募者から生物多様性の保全・再生・創造に特に貢献している1者を選考

## 3 第29回受賞者一覧（全13者）

（敬称略・五十音順）

<b>市民の部（7者）</b> 大賞 ヨコハマ海洋市民大学 実践賞 海藻おしば協会 神奈川支部 KAZOO 認定特定非営利活動法人神奈川海難救助隊 早渕川ファンクラブ 特定非営利活動法人もあなキッズ自然楽校 特定非営利活動法人わかば
<b>企業の部（2者）</b> 大賞 株式会社 REJ 横浜事業所 実践賞 日産自動車株式会社 テクニカルセンター
<b>児童・生徒・学生の部（4者）</b> 大賞 神奈川県立瀬谷西高等学校 実践賞 横浜市立富岡中学校 科学部 横浜市立羽沢小学校 Beeぐみプロジェクト
<b>生物多様性特別賞（1者）</b> 早渕川ファンクラブ ※市民の部実践賞と同時受賞

## 市民の部 大賞

### ヨコハマ海洋市民大学

#### 【団体概要】

- ◆活動地域：横浜市を中心とした県内沿岸部
- ◆会員数：10名（令和4年4月）
- ◆活動開始年：平成26年8月から

#### 【活動概要】

横浜の海について、問題解決に向けて横浜から各地域で自ら行動を起こしていく人材（海洋教育デザイナー）の育成を目指し、座学、ワークショップ、フィールドワークによる講座開催等の活動を実施。コロナ禍でもオンライン講座の開催等、活動を継続。同じ目標を持つ人をつなぐプラットフォームの機能も担い、着実に成果をあげている。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

これまでの錚々たる受賞団体の方々と同じところに立つ重みを強く感じています。環境に関する活動は日々たくさんの市民がそれぞれコツコツとできることが鍵だと思っておりヨコハマ海洋市民大学もその入り口の一つであり続けたいと思います。ありがとうございました。



年に1、2回は座学から離れてエクスカージョンも実施（真鶴半島で・講師：水井涼太氏）



講演だけでなく、ときにグループに分かれたワークショップも（象の鼻テラスで・講師：国吉直行氏）

## 市民の部 実践賞

### 海藻おしば協会 神奈川支部

#### 【団体概要】

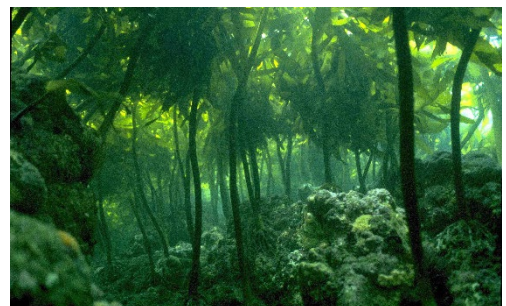
- ◆活動地域：横浜市全域、茅ヶ崎市、藤沢市、大磯町
- ◆会員数：7名（神奈川支部）（令和4年4月）
- ◆活動開始年：平成15年7月から

#### 【活動概要】

「光りはごはん、海を濁さないで」をスローガンに、海の問題のレクチャーと漂着海藻による海藻おしばづくりを通して、海の問題への関心を高め、海藻の大切な働きを理解につながる講座を開催するほか、指導者養成講座により活動を継続している。地域沿岸の海藻を教材として活用することで、地元の海の大切さも伝えている。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

継続してきた活動に評価をいただきありがとうございました。大変嬉しく今後の活動の励みになります。賛同しサポートしていただいている仲間や関係者の皆様にも感謝いたします。引き続き温暖化防止や海洋環境保全について参加者に笑顔と楽しい時間を過ごして頂けるよう、仲間とともに学び精進していきたいと思っております。



海の中にも森があることから海の問題を考えます（写真提供：横濱 康継氏）



海の森からの贈り物「漂着海藻」を使って楽しい作品づくり

## 市民の部 実践賞

### KAZOO

#### 【団体概要】

◆活動地域：磯子区、町田市、愛媛県伊方町、広島県竹原市、和歌山県和歌山市加太、山形県鶴岡市温海など

◆会員数：1名（令和4年4月）

◆活動開始年：平成30年4月から

#### 【活動概要】

子どもたちが海の環境について考えるきっかけづくりを目的とし、全国の港町と連携、海岸に漂着したプラスチックブイを親子でペイントするSDGsワークショップ"親子deブイアート"や、配信イベント"おうちdeブイアート"など、横浜発信の活動を広く展開している。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

「海はみんなと繋がっている。」全国連携ブイアートプロジェクトは、各地の港町との共感がつながったことで生まれました。協力各地への感謝と共に、今回の受賞を機により多くの人たちに活動を知っていただき、横浜から新たなつながりを生み出していきたいです。

貴重な機会をいただき有難うございました。



「子どもたちにきれいな海を残したい」そんな想いに共感した小さな港町との連携プロジェクト。



親子で協力して漂着ごみだったブイをアート作品に。楽しみながら海の環境について考えます。

## 市民の部 実践賞

### 認定特定非営利活動法人神奈川海難救助隊

#### 【団体概要】

◆活動地域：横浜港内、東京湾（相模湾等含む）

◆会員数：27名（令和4年4月）

◆活動開始年：昭和42年4月から

#### 【活動概要】

「海が好き、船が好き、人のために何かしたい」という会員が、横浜港内を中心に、海洋浮遊ごみの回収を平成11年から22年間継続活動している。一般ボランティアも参加し、浮遊ごみを回収し分別分類することで、マイクロプラスチック問題の理解促進なども行っている。また、類似活動を広めるため、SNSを活用し広く活動内容のPRを行う。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

まず初めに横浜環境活動賞市民の部実践賞を受賞した事で隊員の英気と士気がより一層高まり、今後の活動が今まで以上に活発化します。また、市民の方に当団体名を覚えていただくと共にごみについて興味関心をもってもらい、ごみの安易なポイ捨てや不法投棄等の撲滅推進やみずから積極的にボランティア活動に参加して下さい。



横浜港本牧埠頭近辺での浮遊ごみ回収作業



みなとみらい地区前海域での浮遊ごみ回収作業

## 市民の部 実践賞／生物多様性特別賞

### 早渚川ファンクラブ

#### 【団体概要】

- ◆活動地域：早渚川全域、都筑区、伊豆下田海岸ほか
- ◆会員数：143名（令和4年4月）
- ◆活動開始年：平成6年（1994年）から

#### 【活動概要】

早渚川親水広場や早渚川全域で定期的に美化活動を28年継続し、早渚川の環境保全活動を行う。水辺の動植物の観察などフィールドワークも行い、生き物の生態やごみ問題についての環境教育も手掛けている。SNSを活用して水辺の生き物情報の発信など積極的に行い、地域住民の環境保全の意識向上へつなげている。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

選出していただき誠にありがとうございます。メンバーの高齢化とともに存続の危機にありましたが、運良く令和時代に世代交代が叶いました。その後の継続的实践や情報発信が功を奏し、徐々にメンバーも増え、早渚川周辺もキレイになり、清流域の動植物たちが多く観られるようになりました。この賞を今後の励みとし、邁進して行きます。



定期美化活動の集合写真



早渚川に生息するカワセミ

## 市民の部 実践賞

### 特定非営利活動法人もあなキッズ自然楽校

#### 【団体概要】

- ◆活動地域：都筑区
- ◆会員数：95名（令和4年4月）
- ◆活動開始年：平成19年4月から

#### 【活動概要】

河川・海岸ごみの調査やクリーンアップ活動など自然体験を通して環境を学ぶ「海山eco」と、学童にて体験を通して環境問題について学びを深める「地球の日」を柱に、小学生を対象に地球で起きている問題について考える機会の創出を行っている。活動終了後は、地域へ報告会を行い、子どもだけでなく大人の行動変容へもつなげている。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

今般、コロナ禍において、多くの子ども達が、自然体験活動の機会を失っています。しかし、私たちは子ども期における大事な経験を絶やしてはいけないと、活動を継続してきました。今後も横浜市に生まれ、育っていく子ども達の30年後を描き「体験を通して感じ、学ぶ」活動を行っていきます。



「海山eco」では、ビーチクリーンをしながら、環境について考えます。海あそびもたっぷりします。



「地球の日」では、オリジナルのカードゲームで、ファッション産業の環境負荷について考えました。

## 市民の部 実践賞

### 特定非営利活動法人わかば

#### 【団体概要】

- ◆活動地域：緑区
- ◆会員数：12名（令和4年4月）
- ◆活動開始年：平成29年2月から

#### 【活動概要】

沿道の清掃活動や、ハマロード申請道路 340m の植栽柵に四季折々の花苗を植える植栽維持管理を行う。花苗を植えた後も、花ガラ摘み・剪定等の手入れ・水やりを日常的に行うなど、美化活動を継続して実施している。また、他団体との協働事業で障がい者との協働による美化清掃活動を行っている。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

この地域に住んで30数年になります。昭和50年代に公団（UR）が開発し、市道歩行者専用道路に街路樹がある美しい街並みです。NPO法人わかば様との協働による沿道清掃で収集した落ち葉は土壌改良材（たい肥やマルチング）として資源自然循環をしてSDGsに取り組んでいます。受賞に際し緑区地域振興課・緑土木事務所・地域の皆様へのご支援に感謝して御礼申し上げます。



上段は植樹柵に季節の花々を植栽、下段は歩道清掃後に落ち葉を資源回収し土壌改良材として活用



毎週水曜日協働作業の NPO 法人わかば（しょうがいしゃ）の皆様と。活動が「福祉よこはま」に掲載

## 企業の部 大賞

### 株式会社 REJ 横浜事業所

#### 【企業概要】

- ◆所在地：金沢区
- ◆従業員数：233名（令和4年4月）
- ◆環境への取組開始：平成15年1月から

#### 【環境に関する主な取組】

SDGs 環境委員会の社内設置、環境推進リーダー任命など組織体制を整備し、SDGs への貢献、環境マネジメントシステム推進のための企画等を進めている。所内で31品目のごみ分別を実施するなど3Rの取組も推進している。また、従業員及び協力会社に環境教育を実施するほか、事業所周辺を清掃する地域美化活動も行っている。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

当社は一人ひとりが環境保全や環境への影響を低減する意識をベースに、環境法規制の遵守、環境パフォーマンスの向上（コスト、工数、無駄などの削減）、SDGs 達成に向けた活動等を推進してきました。今後も更に、利害関係者からの信頼性の向上を図り、社会的価値と企業の価値を創出し、持続可能な社会の実現を目指します。



従業員及びその家族と野島公園のボランティア清掃を通じて自然共生体験



はく離紙のごみ箱はコピー用紙の箱を使用し手作り、はく離紙のごみ箱に異物混入防止対策

## 企業の部 実践賞

### 日産自動車株式会社 テクニカルセンター

#### 【企業概要】

- ◆所在地：厚木市、西区
- ◆従業員数：非公開（テクニカルセンター）
- ◆環境への取組開始：平成20年から

#### 【環境に関する主な取組】

研究・開発部門で独自に開発した環境問題をテーマとした出張授業プログラムを横浜市環境教育出前講座で実施。地球温暖化などの環境問題と環境負荷低減に向けた自動車業界の取組を伝えることで環境意識を育てている。コロナ禍でも動画教材とモデルカーの貸出プログラムを提供し、オンライン授業の実施など柔軟に授業を展開している。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

将来社会・次世代へ果たすべき責任のひとつとして継続してきた取組を評価頂き、有難うございました。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、将来を担う子ども達に、本プログラムを通じて環境問題の啓発と自主行動の促しを継続して推進して参ります。



第38回横浜開港祭にて『地球温暖化と電気自動車』講義中の様子



横浜市内小学校にて電気自動車試乗・見学の様子（2019年）



## 児童・生徒・学生の部 大賞

### 神奈川県立瀬谷西高等学校

#### 【団体概要】

- ◆所在区：瀬谷区
- ◆生徒数：約 300 名（43 期生）（令和 4 年 4 月）
- ◆活動開始年：昭和 55 年 11 月から

#### 【活動概要】

創立当初から海軍道路の清掃活動を開始し、現在は花の植栽を通じて瀬谷の活性化を目指すフラワーロードプロジェクトに取り組んでいる。ビーチクリーンや、企業等と連携した食品ロス削減、エシカル消費など環境保全に寄与する活動を実施。令和 4 年度完校予定で最終学年となった 43 期生は、活動を地域に継承することを目指している。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

受賞にあたり、本校の教育活動にお力添えいただきました皆様に感謝申し上げます。瀬谷西高校は、昭和 55 年に中屋敷の地に本校舎が完成して以来、地域の皆様に支えられてまいりました。令和 5 年 3 月 31 日に再編統合のため完校しますが、生徒の学びの成果を、瀬谷西のレガシーとして地域に継承／恩返しができるよう最後まで取組を進めてまいります。



通走路である海軍道路など瀬谷の各所に花を植栽するフラワーロードプロジェクトに取り組む様子



鵜沼海岸でマイクロプラスチックを回収するビーチクリーンに取り組む様子

## 児童・生徒・学生の部 実践賞

### 横浜市立富岡中学校 科学部

#### 【団体概要】

- ◆所在区：金沢区
- ◆生徒数：17 名（令和 4 年 4 月）
- ◆活動開始年：平成 29 年 4 月から

#### 【活動概要】

大岡川の水質調査を定期的に行う中でプラスチックごみの存在に気づき、調査研究を開始。主体的に川の観察や海の観察を継続し、プラスチックごみ問題と下水道、生活排水について考察を行い、活動内容や調査結果を下水道展において発表した。また、学内の池を生物多様性保全のためのビオトープとして生徒主体の改修を行った。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

大岡川の水質調査・野島海岸でのマイクロプラスチック調査や周辺の公園でのゴミ拾いを通じて「なぜだろう？」と疑問を持つことができるようになりました。また、それを探求することで新たな発見を得、身の回りの問題を自分ごととして考え、そこからわかったことを学校の仲間や保護者、地域の方々に発信しました。これからも疑問に思ったことを探究し、発信していき、自分たちにできることを考えていきます。



大岡川での水質調査。川から、水を採取して、pH/COD/水温を測定し、川の様子を観察する



横浜で自然の海岸が残る野島海岸での、マイクロプラスチック調査。調査だけでなく、周辺のゴミの回収も行い、観察をしている

## 児童・生徒・学生の部 実践賞

### 横浜市立羽沢小学校

#### 【団体概要】

- ◆所在区：神奈川区
- ◆児童数：338名（令和4年4月）
- ◆活動開始年：平成7年4月から

#### 【活動概要】

地元農家の協力を得てキャベツを栽培・販売し、地産地消に貢献する活動を26年間継続して行っている。学年ごとにテーマを決め、SDGsへの取組を推進し、バラ「はまみらい」の植樹、廃食油によるキャンドル作り、ビオトープの整備など多岐にわたる活動を行う。学校で行った活動は学内から家庭での実践にも波及している。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

この度の受賞にあたり、羽沢小学校の教育活動に長年ご協力いただきました地元農家の方の熱意に対して感謝申し上げますとともに、子ども達の学習におけるSDGsへの取組が、ブロックや家庭地域、そして社会にさらに広げられたらと期待しています。



自分たちで大切に育てたキャベツを販売し、地産地消に役立てました



みんなで回収した廃食油で石けんづくりを行い、リサイクルの意識を高めました

## 児童・生徒・学生の部 実践賞

### Bee ぐみプロジェクト

#### 【団体概要】

- ◆所在区：南区
- ◆会員数：8名（令和4年4月）
- ◆活動開始年：平成29年4月から

#### 【活動概要】

ミツバチの飼育とハチミツの採集を通じた地産地消と、活動内容の発信を通して地域環境についての啓発を行っている。大岡小学校の取組として開始した活動が、地域の企業や商店街を巻き込んで、児童から高校生となった現在も活動を継続している。活動を通じて地域の交流や環境の情報発信など、地域のつながりづくりにも貢献している。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

地道に続けてきた活動を広く知ってもらえる機会をいただき、うれしく思います。春から秋にかけては、毎週土曜日の午前中、弘明寺駅近くにあるビルにて活動を行っています。地域と関わりを持ちたい学生や、生き物が好きな小学生、地域の方に活動を見に来ていただきたいです。ご希望は、beegumi.comの「お問い合わせ」まで。



ミツバチの健康状態や、卵、幼虫の有無。分封の可能性がないかなどのチェックをする高校生



見学しに来た小学生に、ミツバチの様子を間近で見せている場面



第 29 回横浜環境活動賞 事例集

令和 4 年 6 月発行

横浜市 環境創造局 政策課

T E L : 045-671-2484 F A X : 045-550-4093

E m a i l : ks-tayou@city.yokohama.jp

